

氏名	前 川 豊
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 3 1 9 号
学位授与の日付	昭和43年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	不安定股関節児母親の統計的観察 —特に母親の妊娠歴，出産歴を中心として—
論文審査委員	教授 児玉俊夫 教授 橋本 清 教授 浜本英次

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

先天性股関節脱臼の病因論については、いろいろの仮説があるが定説はない。

先天性股関節脱臼児と母親の妊娠歴，出産歴の問診による調査報告はあるが，同一病院で出産した新生児を，生後定期的に検診を行っている症例について，その母親の外来病歴，入院病歴の調査報告はない。

著者は，国立岡山病院産科で，昭和39年1月1日から，昭和41年12月31日までに出産した成熟新生児で，妊娠中の検診を受けていないものや，双生児を除いた2,654名について，38項目について，Unstable HipとStable Hipの2群に分けて調査し，危険率5%で， X^2 検定を行なった。

農家主婦および職業婦人群，妊娠中尿蛋白陽性および高血圧陽性群，黄体ホルモン投与群，胎頭の移動群，陣痛発来のための薬物投与群，異常胎位胎向群に有意差を認めた。

著者の妊娠歴，出産歴の調査結果からは，妊娠中の外的因子，妊娠中毒症，ホルモンに相関関係が認められたが，妊娠歴，出産歴からは先天性股関節脱臼児の出現の予測はできない。

(昭和43年9月1日，中部日本整形外科災害外科学会雑誌，第11巻第3号に掲載予定)

論文審査の結果の要旨

本研究は股関節臼児と母親についての関係を統計的に観察したものである。先天性股関節脱臼と正常児との間で、その妊娠時および出産時に差があるか否かを岡山国立病院の産科、小児科と整形外科との連けいの下で 2,654名の新産児を経時的に追跡した価値ある業績と認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。